

## 梅花女子大学大学院学位論文審査基準

### <文学研究科>

日本語日本文学専攻(修士課程)

英語英米文学専攻(修士課程)

児童文学専攻(博士前期課程)

学位申請者が提出した修士論文は、主査1名と副査2名以上が審査し、専攻会議、大学院委員会の審議を経て可否を決定する。また、修士論文の審査基準は以下の通りであり、すべての項目において水準に達していること。

#### 審査基準

- (1) 研究目的が明確で、課題設定が適切になされていること。
- (2) 研究課題に関する先行研究についての十分な知見を有し、立論に必要な資料収集と整理が適切に行われていること。
- (3) 論の構成および論旨に一貫性が認められること。
- (4) 研究成果に十分な妥当性とオリジナリティが認められること。
- (5) 分量と形式は「梅花女子大学大学院学位規程」の「修士論文に関する細則第6条」に基づいていること。

児童文学専攻(博士後期課程)

学位申請者が提出した博士論文は、主査1名と副査2名以上が審査し、専攻会議、大学院委員会の審議を経て可否を決定する。また、博士論文の審査基準は以下の通りであり、すべての項目において水準に達していること。

#### 審査基準

- (1) 研究目的が明確で、課題設定が適切になされていること。
- (2) 研究課題に関する先行研究についての十分な知見を有し、立論に必要な資料収集と整理が適切に行われていること。
- (3) 論の構成および論理に一貫性が認められること。
- (4) 研究成果に十分な妥当性とオリジナリティが認められるだけでなく、発展させることのできる学術価値と汎用性が見出せること。
- (5) 審査制度のある学術雑誌掲載論文3本以上の成果を含むこと。
- (6) 分量と形式は「梅花女子大学大学院学位規程」の「博士論文に関する細則第5条」に基づいていること。

## <現代人間学研究科>

### 心理臨床学専攻(修士課程)

学位申請者が提出した修士論文は、主査1名と副査2名以上が審査し、専攻会議、大学院委員会の審議を経て可否を決定する。また、修士論文の審査基準は以下の通りであり、すべての項目において水準に達していること。

#### 審査基準

##### (1) 研究課題

- ・心理臨床との関連性をもった研究テーマや研究目的が設定され、臨床心理学の研究や実践に有用であること。

##### (2) 研究目的

- ・先行研究が適切に整理され、研究の背景および目的が明確に示されていること。

##### (3) 研究方法

- ・研究目的を達成するための研究方法が妥当であること。
- ・研究方法については倫理上問題がないことが検討・確認されていること。

##### (4) 研究結果

- ・得られたデータが十分に整理され、分析結果が明確に示されていること。

##### (5) 考察および結論

- ・研究から得られた資料や結果に対して、具体的な分析と客観的な考察がなされていること。
- ・使用されている概念・用語は適切であり、論旨の展開に一貫性があること。

##### (6) 独創性、新規性および発展性

- ・申請者自身の単著であるとともに、自立的ないし主体的に取り組んだ研究の成果であること。
- ・研究課題、研究方法、結論等に独創性または新規性が認められ、研究結果が臨床心理学の発展に寄与または社会へ貢献する内容であること。

##### (7) 論文の体裁

- ・「梅花女子大学大学院学位規程」の「修士論文に関する細則第6条」に基づいていること。
- ・論文の記述(本文、図表、文献の引用など)が十分かつ適切になされ、学術論文としての体裁が整っていること。

## <看護保健学研究科>

### 口腔保健学専攻(修士課程)

学位申請者が提出した修士論文は、主査1名と副査2名以上が審査し、専攻会議、大学院委員会の審議を経て可否を決定する。また、修士論文の審査基準は以下の通りであり、すべての項目において水準に達していること。

## 審査基準

### (1) 研究課題

- ・学術的または社会的意義が認められる研究課題が設定されていること。

### (2) 研究目的

- ・先行研究を十分に踏まえて、研究課題の背景が記述されていること
- ・研究目的が明確であること。

### (3) 研究方法

- ・研究課題を解明するための適切な方法を選択していること。
- ・人を対象とする研究では、「梅花女子大学における人を対象とする研究倫理指針」に基づいて、倫理的な配慮がされていること。

### (4) 研究結果

- ・得られたデータが十分に整理され、分析結果が明確に示されていること。

### (5) 考察および結論

- ・先行研究を幅広く調査したうえで、口腔保健学における専門的知識や技能に基づいて、研究結果を論理的に考察していること。
- ・結論は、それまでの論旨展開を踏まえて明確に導出されていること。

### (6) 独創性、新規性および発展性

- ・研究課題、研究方法、結論等に、独創性または新規性が認められ、得られた結果が口腔保健学の発展または社会への貢献に寄与すること。

### (7) 論文の体裁

- ・「梅花女子大学大学院学位規定」の「修士論文に関する細則第6条」に基づいていること。
- ・論文の構成、文章表現、図表、文献の引用等において、論文としての体裁が整っていること。